



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

4月の行事予定

4月

Calendar table with columns for date, day of the week, and event details. Includes events like '新任式・前期始業式' and '対面式'.

誇り高き青春を讃えて 三学年主任 水迫 達郎
高校の世界史の授業の「コマを思い出す。世界史の18世紀ドイツ文学に関する解説の中で、ゲーテやシラーの起こした文学革新運動 Sturm und Drang (シュトルム・ウント・ドラング)の紹介があった。青春時代を「疾風怒涛の時代」とするその考え方は当時の私にとっては衝撃的であり、自分のあり方をまさに的確に言い表した言葉として納得したのである。

第60回卒業式
3月2日月、柔らかな春の日差しが降り注ぐなか、第60回の卒業式が挙行され、晴れてこの日を迎えた31名の卒業生たちは、凛とした姿でこの学び舎を巣立っていった。式辞では、学校長より「1. 学ぶことに食欲であって欲しい。2. 学びの中で人格を高めて欲しい。3. 学びを通して『我』を知ることによって到達して欲しい」というメッセージが送られた。また「これから『自分の詩』を紡いでいく先輩方は、不安や不満の闇が渦巻く社会の中で希望の光を信じている」という在校生代表の小屋敷亮介君からの送辞に対し、未来の自分への手紙という形で「未来の僕へ。君は僕の憧れる姿になっているのではありませんか。僕がこの手紙を君として読むとき、君はさらに先を走っていてほしいと願っています」と卒業生を代表して下田隆史君が答辞を述べた。

豊かな社会にしよう
3月18日(水)、鹿児島西警察署からお二人の講師をお招きして防犯教室が開かれた。現代社会において深刻な問題となっている携帯電話・インターネットを例として、過去の事例などを用いながら、高校生が被害者や加害者となることも十分あり得るということをお話ししてくださった。携帯電話やインターネットを正しく利用し、互いが信頼しあえる豊かな人間関係を築いていこう。

保護者による学校評価の結果報告
保護者による学校評価の目的は、学校運営や教育活動について、その成果・問題点を明らかにし、更に保護者のニーズを把握すること、よりよい教育活動の展開を図ると同時に、学校に対する保護者の関心や理解を深めていただくことです。例年通りアンケートの結果、「1:よく当てはまる」「2:やや当てはまる」という肯定的な評価は、ほとんどの項目で80%以上の高い割合を占めており、特に「1:よく当てはまる」は、15項目で昨年を上回り大きく改善されています。評価が高かった項目は、次の項目です。
1 文化祭・体育祭など、諸行事に生徒が積極的に関わっている。 97%
2 建学の理念(校訓)は日々の教育に生かされている。 96%
3 信頼できる友人が多く、良い刺激を受けている。 96%
4 生徒の動静(欠席・遅刻等)について保護者との連携がとれている。 96%
逆に評価が低かった項目は、次の項目です。
1 それぞれの能力に応じて成績を伸ばす適切な学習指導がなされている。 77%
2 部活動と学習の両立が上手くなされている。 78%